

液状化による被災建屋の救済を広げよ

被災者生活再建支援制度受給枠の拡大を



受給対象被災者生活再建支援制度受給枠の拡大を

(要望) 被災者生活再建支援法に基づく被災者生活再建支援制度の需給対象要件については、基本的には中規模半壊以上が対象となっているが、今回の震災においては液状化による

つて傾倒し、居住も困難となるにもかかわらず、中規模半壊以上でなく、一部損壊と判定される家屋が多くあることが推測される。これらの住宅も再建に向け、本支援制度の受給対象となるよう要件の緩和を要望する。

地域復興に向けた制度の新設・拡充を

宅地液状化防止事業の補助率嵩上げを

地域全体の復興支援を拡充せよ

(要望) 今回の地震において本市、特に西区黒埼地区においては液状化による地盤沈下などの影響が広範囲に発生し、家屋が傾倒するなど大きな被害をもたらされた。

地域の安心安全を取り戻すためにも、中長期的な視点で復興を目指すことも必要である。国により示されている宅地液状化防止事業の採用を早急に検討するとともに、制度の柔軟な運用や補助率の嵩上げを要望する。

居宅以外の被災建物も対象へ

農舎、集会所、空き家も公費解体へ

本市は災害等廃棄物処理事業による公費解体の適用拡大を国に緊急要望し、これに叶いました。

今回の被災は家屋だけでなく農舎や自治会集会所、空き家にも及

び、これらも災害廃棄物処理事業の対象となるよう適用の拡大を求めています。

緊急性があった既に解体撤去済みの建物についても遡り申請が可能となります。



中野小屋では多くの農舎が倒壊しました



国定政務官と公費解体に向けた意見交換を



震災関連の情報はLINEから



新潟市 友だち 134,874

震災に関する情報を得るには新潟市の公式LINEがおすすめです。LINEアプリをダウンロードしてからスマートホンでQRコード(左)を読み込んで登録してください。

現在12万人ものユーザーが利用しています。緊急時だけではなく、降雪情報や暮らし、生活に関すること、市政情報やイベント情報等も配信され便利です。

是非お試しく下さい。



QRコードを読み込んで登録



新潟西道路バイパス早期着工を目指す



◇国家要望も本格化 平成30年に事業化された新潟西道路バイパス複線化事業の早期着工に向け中原市長、同盟会の皆さまとともに国交省への要望活動を行いました。今年で6年目。一日も早い着工に向けて訴えを継続します。

西区をスポーツの力で元気に!

今年度から西区スポーツ協会会長に就任させていただきました。ようやくコロナ禍が収束し、身体を思い切り動かす喜びを満喫できる状況になった、こんな時にこのような大役をいただけることは嬉しい限りです。身が引き締まる思いです。どうぞよろしくお願いたします。

就任して半年が経過しましたが、今まで挑戦したことがないスポーツに触れることができました。まずはここからです。

西区の各団体のスポーツ振興に寄与することはもちろん、様々なスポーツを誰もが楽しめる環境を整えることを、少しでも前に進めることができればと考えています。また地域スポーツのあり方を進めることもテーマとして取り組むつもりです。何はともあれ頑張ります!



前任の永井会長、ありがとうございました。

編集後記

昨年は県議選への出馬という大きな決断と挑戦をさせていただきました。県会へと進みはや1年弱。その間も多くの方々にお支えいただきありがとうございますことあらためて心より感謝申し上げます。

震災から2週間が経過しました。このかなめ通信は第26号となりますが、県議となったから初めての発行です。結果としてこの度の災害によってかなめ通信の再開を後押しいただいた形となりました。皆さまに活動が見えるよう心がけてまいります。



初質問。緊張でネクタイが曲がりました



たむら要介のホームページはこちら

新潟県議会議員田村要介
かなめ通信 23号

発行 新潟県議会議員 田村要介
事務所 千950-2162
新潟市西区五十嵐中島4-23-8
TEL 025-378-0592
FAX 025-378-0598

*ご不明な点は事務所までご連絡ください。
*この県政報告書は政務活動費を使用していません

お気軽にご相談ください

本年も宜しくお願いします



先輩の箱根に便乗



早起き野球は現役続行?



横綱照ノ富士関と